

町史編さん室だより

学校の給食

昭和47年4月に、学校給食センターが竣工し、町内の小中学校の給食が一括して作られるようになりました。では、それ以前の小中学生の昼食は、どのようなものだったのでしょうか。中学校では給食はなく、お弁当持参でした。小学校は、当時、南小学校と北小学校の2校で、それぞれに給食の調理室がありました。

北小学校の学校日誌によると、昭和22年6月には、毎日ではないですが「全校給食」と書かれています。同年10月には、児童によるイナゴ採取の記事が見られ、後日「イナゴ佃煮給食」が実施されたと書かれ、戦後の食糧事情がうかがえます。ちなみに、戦時中にも児童がイナゴを採取して湯がいたものを学校で食べたそうですが、味付けまではされていなかったようです。

さらに翌11月には、給食用ミルク(脱脂粉乳)の受け取りの記事があり、後日「ミルク給食」「味噌汁給食」の記事が多く見られるようになります。なお、「味噌汁給食」の日は、地区ご

とに数名が来校し、給食を作るお手伝いを交代でしていました。おそらくは、単なるお手伝いだけでなく、中に入れる野菜を持ち寄ることも当番の仕事に入っていたのかもしれない。

昭和30年代に入って、両校とも給食が常時出されるようになりました。給食用ミルクは、徐々に牛乳に代わり、昭和40年代半ばには給食にミルクが出るのは週に1回か2回に減りました。当時を知る栄養士さんによれば、甘みや油分などで味を調整し、飲みやすくなるように工夫をしたとのことでした。学校給食センターができてからは、ミルクは出されなくなりました。

問合せ先

町史編さん室 ☎95-3464



▲ミルクポット
(大口町歴史民俗資料館蔵)

松江市姉妹都市交流事業

松江市民レガッタ参加者募集



姉妹都市交流事業の一環として、松江市で開催される「松江市民レガッタ」の参加者を募集します。大会の参加費、前日の宿泊費を町で負担しますので奮ってご応募ください。

※記事作成時点で大会開催は決定していませんが、参加申し込みの都合上、先行して募集をおこないます。応募(期限)後に開催日程が決まった場合、応募者に対して参加の可否を改めて確認させていただきます。

対象 大会の参加資格を満たす、大口町にお住まいかお勤めの方で、大会前の事前練習(最低2回程度、土日祝日を予定)に参加できる方

参加人数 5名

※個人またはグループどちらでもご応募いただけます。
※応募者多数の場合は抽選により決定します。決定した5名で1つのクルーを組み参加します。
※応募者が5名に満たない場合は出場できません。

応募方法

政策推進課へ電話、メールまたは郵送にて、「氏名」「生年月日」「住所」「連絡先(携帯番号等)」「勤務先名(在勤の方のみ)」「高校・大学・企業等でのボート部経験の有無」をお知らせください。

応募期限 5月21日(金) ※必着

その他

※天候不良や新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合があります。

※大会の詳細については、ホームページまたは大会実行委員会でご確認ください。※参加者派遣に関することは、政策推進課へお問い合わせください。

※参加者の方の「参加費・大会前日の宿泊費(町指定)」は町で負担しますが、その他の会場までの移動および滞在費用等については各自でご負担ください。

問合せ先 政策推進課 ☎95-1617